

令和5年度 学校だより

あくのうら

6月

令和5年 6月1日

長崎市立飽浦小学校

発行 校長 松尾 伸章

ホームページ www.nagasaki-city.ed.jp/akunoura-e/

5月21日（日）に令和5年度飽浦小学校運動会を開催しました。木曜日から雨が降り、準備には少々苦労しましたが、当日は絶好の運動会日和となりました。

今年度は、コロナ禍の長いトンネルをようやく抜け、4年ぶりに来賓・地域の方々まで多くの皆さんにご参会いただき、子どもたちの元気な姿を見ていただくことができました。たくさんの励まし、応援、拍手等をいただくことで、子どもたちはいちだんと頑張ることができた運動会でした。また、保護者の皆さんには、来賓・敬老種目、幼児種目、育友会種目の準備・運営、そして終了後の後片付けなどたくさんのご協力をいただきました。子どもたちのために周りの大人みんなが力を合わせることができました。私たち職員も、保護者の皆さんや地域の皆さんと共に活動できる喜びを感じながら、気持ちよく運動会を開催することができました。たいへんありがとうございました。

運動会大成功！

閉会式の万歳三唱で、今年度は応援団長の二人が「運動会大成功！」と言いました。私もその通りだと思います。「大成功！」の理由を7つあげてみます。

- ① あくのうらっ子が、運動会に向けて、みんなで協力し合い、えがおで元気いっぱい頑張ることができたから。
- ② あくのうらっ子が、先生たちの指導を素直に受け入れ、自分の力に変えていたから。
- ③ あくのうらっ子が、運動会に向けて努力してきたことが、本番に表れていたから。
- ④ あくのうらっ子が、運動会を通して、自信をつけることができたから。
- ⑤ 保護者・家族の皆さんの協力が運動会を支え、素晴らしいパワーを見せてくれたから。
- ⑥ 地域の皆さんが、4年ぶりにもかかわらず、たくさん足を運んでいただき、運動会を盛り上げてくれたから。
- ⑦ 私たち職員が、運動会を通して子どもたちと保護者の皆さんそしてこの地域の皆さんとさらにつながることができたから。

今年度は、ソーラン節を復活させると同時に、新しく全校児童でのソーラン節に取り組みました。本校は、今年度から複式学級もできました。以前に比べると児童数は減っていている状態ですが、前向きな考え方を大切に、今後も様々な場面で小規模校の良さをいかした取組を行っていきたいと考えています。



【6月の行事予定】

- 1日(木) 委員会活動 安全の日
- 6日(火) 眼科検診
- 7日(水) 心の時間
- 8日(木) クラブ活動
- 9日(金) ピースデイ 5年科学館・原爆資料館見学
- 14日(水) 学校保健委員会(15:00~15:45 多目的室)
救急救命講習会(15:45~16:45 体育館)
- 15日(木) 代表委員会・ボランティア活動
- 16日(金) プール清掃(5・6年)
- 18日(日) あくのうらっ子の心を見つめる教育週間(～24日) 家庭の日
- 19日(月) 全校集会
- 20日(火) 目の健康チェック(～30日)
- 22日(木) 集団下校
- 23日(金) 被爆体験講話(5校時) 講師；八木道子様
- 24日(土) 【土曜授業】道徳科授業参観・学級懇談会 5年宿泊学習説明会
読み語りの会 強調月間パトロール
- 27日(火) いっちゃん楽しいコンサート(13:55～体育館)
- 28日(水) 全校集会
- 29日(木) 委員会活動

【あくのうらっ子の心を見つめる教育週間】

6月18日から24日の1週間は、「あくのうらっ子の心を見つめる教育週間」です。この期間は、学校の教育活動をすべて公開し、「いのちを輝かせて生きる、心豊かなあくのうらっ子の育成」をめざします。今年度の重点目標は、「学校と家庭や地域住民が連携して、児童がいのちを輝かせて生きようとする心情を育むとともに、情報モラル教育教材(SNS ノート・ながさき)を活用し、情報モラルについて理解を深める。」です。

この期間中、「SNS ノート・ながさき」を活用した情報モラルに関する学習を行ったり、被爆体験講話を聴いたり、24日には道徳科で命にかかわる授業を実施します。どの取組も、自他の命を大切にし、いのちを輝かせて生きようとする心情を育むための取組です。この期間に一度は学校に足を運んでいただきたいと考えています。

《校長室の窓から》

朝から玄関で子どもたちを迎えていると、うれしいことに子どもたちのたくさんの感動体験に立ち会うことができます。

「やったー！アサガオの芽が出てー！」「オクラと大豆の芽が出たー！」「チョウの卵を見つけましたー！」「青虫がさなぎになってます！」「ヤゴから脱皮してトンボになってます！」「わー！この葉っぱのしたにダンゴムシがいっぱい！」などなど……。見つけた感動とともに発する子どもの声と表情(えがお)には何とも言えない可愛らしさがあります。

学校の朝は、まさに子どもが主体的に学んでいる最高の学びの時間なのかもしれません。